

9 在庫額（従業者 30 人以上）

- ・ 年末在庫は 7119 億円で、年初と比較すると 428 億円（6.4%）増加した。
- ・ 年末在庫の内訳は、製造品在庫額が 2473 億円、半製品・仕掛品在庫額が 4646 億円である。

(1) 在庫額の推移

平成元年からの推移をみると、年末在庫額は 3 年の 1 兆 3464 億円をピークに 6 年まで大きく減少した。7 年から増加と減少を繰り返し、11 年以降は再び減少傾向を示している。17 年は 7119 億円でありピーク時の 3 年と比較すると 6345 億円（△47.1%）の減少となっている。

（図 22、表 2）

(2) 産業別の状況

年末在庫を産業別にみると、「電気機械」が 1304 億円（構成比 18.3%）で最も多く、次いで「輸送用機械」が 1301 億円（同 18.3%）、「情報通信機械」が 1256 億円（同 17.6%）となっている。

年初と比較すると、増加額では、「電気機械」の 190 億円（17.0%）が最も大きく、次いで「情報通信機械」の 146 億円（13.2%）、「輸送用機械」の 136 億円（11.7%）となっている。減少額では、「精密機械」が 45 億円（△6.5%）で最も大きく、次いで「一般機械」が 41 億円（△7.4%）、「化学工業」が 12 億円（△3.8%）となっている。

増減率をみると、「家具・装備品」、「繊維工業」等で増加した。

（付表 10）

(3) 在庫率

生産額に占める年末在庫額の割合を示す在庫率は、8.8%で前年より 0.4 ポイント増加した。

産業別にみると、「電気機械」が 17.6%、「家具・装備品」が 17.2%で大きく、「食料品」が 1.6%、「印刷・同関連業」が 1.8%で小さい。

（図 25、付表 11）

※ 「在庫率」は、利用上の注意の「2 統計表の項目の説明(6)」参照

